

2025年2月期第3四半期の 営業状況について

このプレゼンテーション資料には将来の見通しが含まれています。これらの見通しや意見は、社内資料やその他の信頼するに足りると思われる資料をもとに作成していますが、将来の業績を保証するものではありません。よって、実際の売上高や利益等は、ここに記載されている内容と異なる場合があることをご承知おきください。

久光製薬株式会社
2025年1月9日



要 旨

1. 業績予想の修正について
2. 2025年2月期の進捗について
3. 連結損益
4. 地域別売上高
5. 商品別売上高
6. 研究開発パイプライン
7. 資本政策について



1. 業績予想の修正について

単位:百万円

	前回 発表予想	今回 修正予想	増減額	増減率	前期実績 (2024年2月期)
売上高	152,000	154,000	+2,000	+1.3%	141,706
営業利益	14,500	18,000	+3,500	+24.1%	13,167
経常利益	18,900	23,000	+4,100	+21.7%	19,649
親会社株主に帰属する純利益	15,800	20,500	+4,700	+29.7%	13,969

<売上高>

- ・国内「ジクトル[®]テープ」売上増加
- ・海外「サロンパス[®]」、女性ホルモン製剤「COMBIPATCH[®]」「VIVELLE-DOT[®]」の売上増加
- ・円安影響

<営業利益・経常利益・純利益>

- ・売上高増加
- ・継続的な原価低減活動
- ・返品削減の取り組み
- ・売上構成の変化

第7期中期経営方針で掲げたROE8%以上の達成を目指す



2. 2025年2月期の進捗について

単位:百万円

連結損益	第3四半期	通期	
	実績	業績予想	進捗率
売上高	111,253	154,000	72.2%
営業利益	13,220	18,000	73.4%
経常利益	16,471	23,000	71.6%
親会社株主に帰属する純利益	13,660	20,500	66.6%

※2025年1月9日公表



3. 連結損益 | 対前期実績

単位:百万円

	2024年2月期 第3四半期実績	2025年2月期 第3四半期実績	増減額	増減率
売上高	102,827	111,253	+8,425	+8.2%
売上原価	44,227	44,865	+638	+1.4%
原価率	43.0%	40.3%		
販管費	46,353	53,167	+6,813	+14.7%
販売促進費	8,974	10,726	+1,751	+19.5%
広告費	10,385	11,599	+1,213	+11.7%
研究費	6,042	7,850	+1,807	+29.9%
その他	20,950	22,991	+2,040	+9.7%
営業利益	12,246	13,220	+973	+8.0%
経常利益	16,638	16,471	-167	-1.0%
親会社株主に帰属 する純利益	12,092	13,660	+1,567	+13.0%
為替レート(¥/USD)	139.55	151.59		

2025年2月期第3四半期決算概要

4期連続の増収増益

■売上高(+8,425)

- ・サロンパス[®]を中心に海外売上高増加
- ・ジクトル[®]テープ売上高増加、新商品売上高の寄与

■売上原価(+638)、原価率(-2.7ポイント)

- ・継続的な原価低減活動、売上構成の変化、返品削減の取り組み、円安の影響

■販管費(+6,813)

- ・販売促進費:ノーベン社(米国)におけるXELSTRYM[®]販促費用
- ・広告費:ブランド価値向上のための積極投資
- ・研究費:初期フェーズパイプライン関連費用、SAGAグローバルリサーチセンター減価償却費
- ・その他:物流費、減価償却費、人件費(賃上げ)

■経常利益(-167)

【当期】為替差損 【前期】為替差益

■親会社株主に帰属する純利益(+1,567)

投資有価証券売却益





4. 地域別売上高 | 対前期実績

単位:百万円

		2024年2月期 第3四半期実績	2025年2月期 第3四半期実績	増減額	増減率
売上高		102,827	111,253	+8,425	+8.2%
医療用医薬品	日本	40,907	39,628	-1,278	-3.1%
	海外	13,034	16,459	+3,425	+26.3%
	米国	8,975	11,895	+2,920	+32.5%
	その他地域	4,059	4,564	+505	+12.4%
一般用医薬品 ・ その他	日本	15,697	17,971	+2,273	+14.5%
	海外	30,800	34,703	+3,903	+12.7%
	米国	14,237	16,491	+2,254	+15.8%
	その他地域	16,563	18,212	+1,648	+10.0%
その他事業	日本	2,387	2,489	+102	+4.3%
海外売上比率		42.6%	46.0%		

地域別売上高の状況

- 売上高(+8,425)
 - <医療用医薬品 日本(-1,278)>
 - ・ジクトル[®]テープの売上増加
 - ・薬価改定、後発品影響
 - <医療用医薬品 海外(+3,425)>
 - ・女性ホルモン製剤の売上増加
 - <一般用医薬品 日本(+2,273)>
 - ・エスカップ[®]売上(2023年10月エスエス製薬より譲受)
 - <一般用医薬品 海外(+3,903)>
 - ・サロンパス[®]の売上増加
- 海外売上高比率 46.0%(+3.4%)



5. 商品別売上高 | 医療用医薬品/対前期実績

単位:百万円

	2025年2月期 第3四半期実績			2025年2月期第3四半期の 対前年増減額			2025年2月期第3四半期の 対前年増減率		
	連結	日本	海外	連結	日本	海外	連結	日本	海外
医療用医薬品計	56,088	39,628	16,459	+2,146	-1,278	+3,425	+4.0%	-3.1%	+26.3%
モーラス [®] テープ群	15,999	15,344	654	-2,947	-2,866	-81	-15.6%	-15.7%	-11.1%
ジクトル [®] テープ	6,216	6,216	-	+2,492	+2,492	-	+66.9%	+66.9%	-
ハルロピ [®] テープ	3,098	3,098	-	+399	+399	-	+14.8%	+14.8%	-
モーラス [®] パップ群	2,372	2,372	-	-375	-375	-	-13.7%	-13.7%	-
フェントス [®] テープ	2,431	2,431	-	-225	-225	-	-8.5%	-8.5%	-
アポハイド [®] ローション	1,111	1,111	-	+266	+266	-	+31.6%	+31.6%	-
エストラーナ [®] テープ	1,459	1,459	-	-57	-57	-	-3.8%	-3.8%	-
その他	7,200	6,745	454	-665	-528	-136	-8.5%	-7.3%	-23.1%
COMBIPATCH [®] 群	6,086	847	5,239	+754	-383	+1,137	+14.2%	-31.2%	+27.7%
VIVELLE-DOT [®] 群	5,731	-	5,731	+1,201	-	+1,201	+26.5%	-	+26.5%
MINIVELLE [®] 群	2,415	-	2,415	+444	-	+444	+22.5%	-	+22.5%
XELSTRYM [®]	360	-	360	+293	-	+293	+433.8%	-	+433.8%
SECUADO [®]	770	-	770	+249	-	+249	+47.8%	-	+47.8%
DAYTRANA [®] 群	828	-	828	+311	-	+311	+60.3%	-	+60.3%

<日本>

ジクトル[®]テープ



全身性経皮吸収型製剤の認知拡大

モーラス[®]テープ群



薬価改定、後発品影響、
選定療養影響

<海外>

COMBIPATCH[®]群
VIVELLE-DOT[®]群



女性ホルモン製剤(経皮吸収型製剤)
市場の拡大

XELSTRYM[®]



Co-Payカード使用の適正化

DAYTRANA[®]群



AG製剤の売上増加



ジクトル®テープ

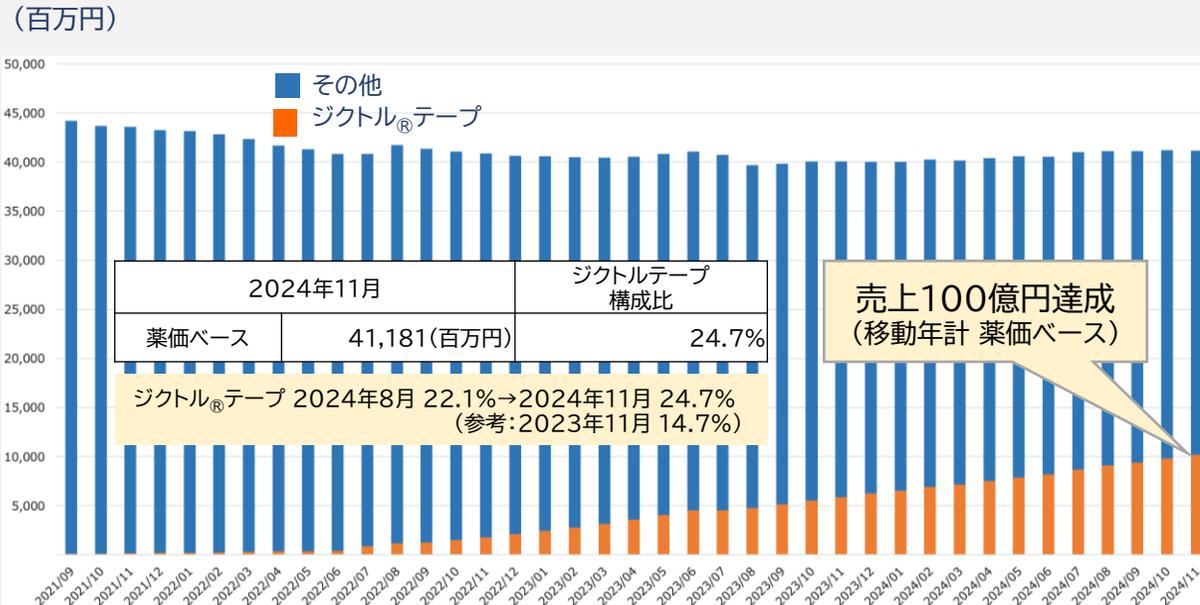
非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)含有 全身性経皮吸収型製剤



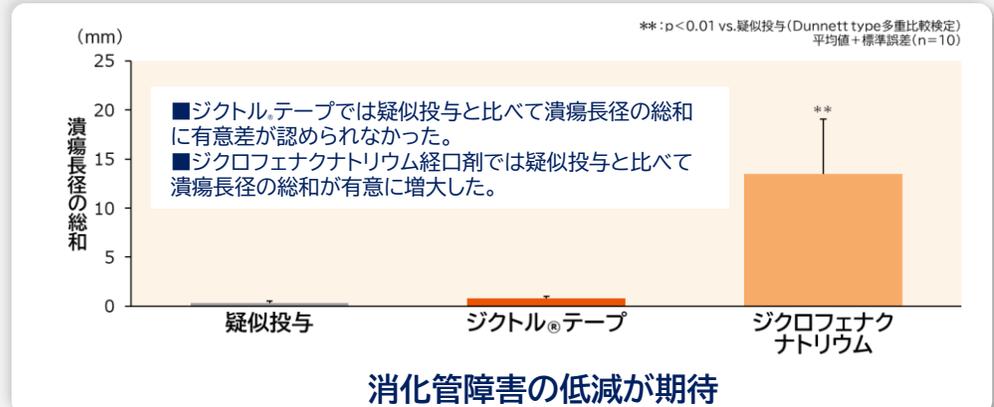
販売状況 * 早期に売上100億円超(出荷ベース)を目指す
* 日本→米国→その他地域へ展開を進める

- 2025年2月期第3四半期 売上高 6,216百万円(対前期+66.9%)
- 2024年11月市場シェア 24.7%(対前期+10.0%(移動年計))
- 「全身性経皮吸収型製剤」の特長を学会、講演会等を通じ情報提供

市場動向/金額ベース(非ステロイド性抗炎症剤、抗リウマチ剤※)



非臨床試験 胃粘膜障害作用(ラット)(参考情報)



試験方法: 絶食下の5週齢のSD系雄性ラットに本剤を背部に24時間単回経皮投与及びジクロフェナクナトリウムを8時間ごと3回経口投与し、投与開始後24時間に胃を摘出、肉眼的に胃粘膜を観察し、発生した潰瘍の長径(mm)を個体ごとに合計し評価した。なお、ストレス条件を均一化するため、全ての個体に経皮投与の保定操作を行い、疑似投与群及び本剤投与群には注射用水(経口投与媒体)を8時間ごと3回経口投与した。また、本試験のジクロフェナクナトリウムの経口投与量はAUC₀₋₂₄が本剤と等しくなるように設定した。

貼り方⇒<https://www.hisamitsu-pharm.jp/medicalsupport/guidance/zichthoru/sizai05.pdf>





原発性手掌多汗症

- ・ 手掌から両側性に過剰な発汗を認める疾患。社交活動(握手など)やペーパーワーク、電子機器の操作等に多大なる支障をきたすため、学校生活や社会生活上の様々な場面で生活の質や労働能率を低下させる大きな要因となることが知られている※1
- ・ 推定患者数(日本)：約493万人※2

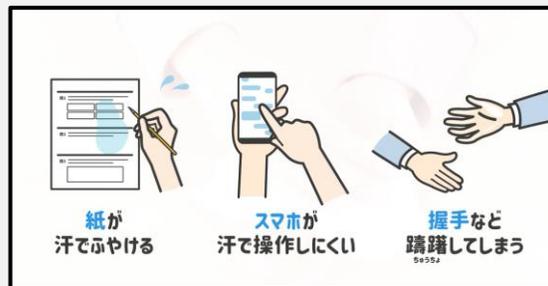
販売状況

- ・ 2025年2月期第3四半期 売上高：1,111百万円
* 2023年6月発売
- ・ 2024年11月までに累積約17万人に投与

- ・ 2024年6月 処方日数制限解除
- ・ 学会、講演会等を通じての情報提供
- ・ 疾患啓発活動の継続

推定累積治療患者数※3

(単位:人)



デジタルサイネージ放映

みんなの手の汗サイト
<https://www.hisamitsu.co.jp/tenoase/>



※1 日本皮膚科学会ガイドライン:原発性局所多汗症診療ガイドライン 2023 年改訂版
 ※2 Fujimoto T, et al.: J Dermatol 2013; 40(11): 886-90
 ※3 IQVIA Rx(2023/06-2024/11)より自社集計 Copyright © 2024 IQVIA. 無断転載禁止



販売状況 *米国ADHD市場規模:約100億ドル

- ・ 2025年2月期第3四半期 売上高 360百万円 *2023年6月発売
- ・ Co-Payカード使用の適正化(2024年7月~)

処方箋動向



<貼付剤の強み>

- ・ 医師の指導の下、症状に合わせて貼付時間を調整できる
- ・ 経口投与が困難な患者(成人・小児)にも投薬しやすい
- ・ 服薬状況を家族および介護者が目視で確認可能

上記特長を学会等を通じて情報提供、認知度向上を図る

※Source: This information is an estimate derived from the use of information under license from the following IQVIA information service: NPA, Total Patient Tracker™ for the period from 2023 to 2024. IQVIA expressly reserves all rights, including rights of copying, distribution and republication.



5. 商品別売上高 | 一般用医薬品・その他/対前期実績

単位:百万円

	2025年2月期 第3四半期実績			2025年2月期第3四半期の 対前年増減額			2025年2月期第3四半期の 対前年増減率		
	連結	日本	海外	連結	日本	海外	連結	日本	海外
一般用医薬品・その他 計	52,675	17,971	34,703	+6,176	+2,273	+3,903	+13.3%	+14.5%	+12.7%
サロンパス®群	37,479	7,352	30,127	+3,809	+98	+3,710	+11.3%	+1.4%	+14.0%
フェイタス®群	3,226	3,054	171	+331	+196	+135	+11.5%	+6.9%	+377.9%
バイバイフィーバー®	2,680	44	2,635	+74	-198	+272	+2.9%	-81.6%	+11.5%
エスカップ®群	2,012	2,012	-	+1,195	+1,195	-	+146.4%	+146.4%	-
アレグラ®FX	982	982	-	-407	-407	-	-29.3%	-29.3%	-
サロンシップ®群	2,090	1,158	931	-155	+2	-157	-6.9%	+0.2%	-14.4%
エアー®サロンパス®群	1,328	638	690	+3	-36	+39	+0.2%	-5.4%	+6.1%
ブテナロック®群	705	702	2	+9	+13	-3	+1.4%	+1.9%	-58.7%
その他*	2,169	2,025	144	+1,314	+1,409	-94	+153.8%	+229.0%	-39.6%

*会計基準による返金負債計上額を含む

<日本>		<海外>	
エスカップ®群	↑ 2023年10月、エスエス製薬より譲受	サロンパス®群	↑ 積極的販促活動
アレグラ®FX	↓ 前年出荷の反動減		

※環境負荷軽減とコスト削減を目的に小売店、卸と返品削減を推進しています。

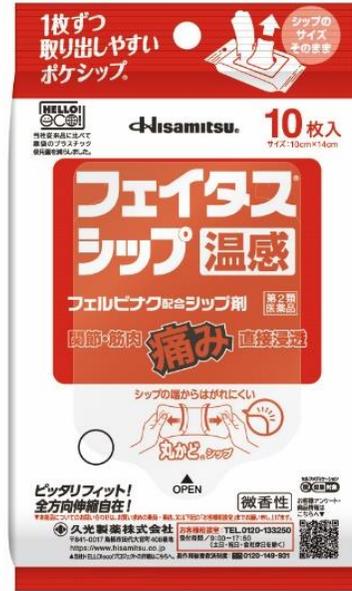


「フェイス®シップ」「フェイス®シップ温感」「フェイス®Zジクサス®シップF」
リニューアル発売

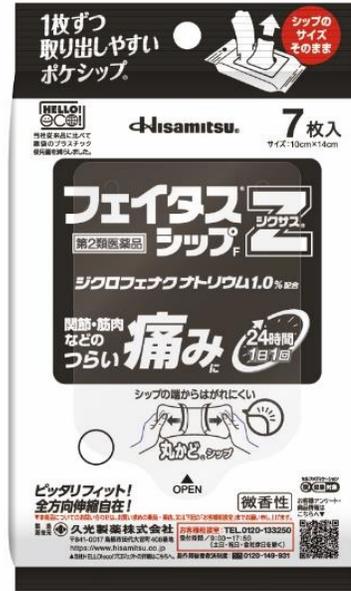
Hisamitsu®
「手当て」の文化を、世界へ。
Promoting "TE-A-TE" Culture Worldwide



フェイス®シップ



フェイス®シップ温感



フェイス®Zジクサス®シップF

一体型ラベルの採用



分離型ラベル

取り出しやすさがアップ



一体型ラベル

包材使用量(ラベル部分1個あたり)
約 3.7%削減

廃棄物削減量
約 0.01 t/年間

*従来品との比較

■商品情報

<https://www.hisamitsu.info/feitas/>



当社従来品に比べて
薬袋のプラスチック
使用量を減らしました。



「アレグラ®FX」新広告 新イメージキャラクター

「アレグラ®FX」新イメージキャラクター 吉高由里子さん・チョコレートプラネット 起用！



■商品情報

<https://www.allegra.jp/>

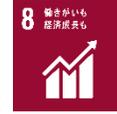




JLPGA ステップ・アップ・ツアー 「サロンパス®レディスオープン」



久光製薬グループのマテリアリティ(重要課題) 地域社会への貢献



創業の地である佐賀県のスポーツ振興並びに地域活性化への貢献



Road to Dream. 九州佐賀から、世界へ。



開催日時:2024年10月18日(金)~20日(日)
開催場所:若木ゴルフ倶楽部(佐賀県武雄市)



海外一般用医薬品・その他 2025年2月期 新商品

発売月	カテゴリー	地域	アイテム数	
2024年3月 ～ 2024年11月	一般用医薬品	アジア	3	
		アフリカ	3	
	その他*	アジア	1	
		南米	1	
	一般用医薬品計			6
	その他* 計			2
合計			8	

*その他: 医療機器・医薬部外品 等





6. 研究開発パイプライン

	ステージ	テーマ名	対象	剤形	対象疾患名	次のステップ
1	承認	HARUROPI [®] PATCH (ハルロピ [®] テープ)	亜	貼付剤	パーキンソン病	2025年度 発売予定
2	フェーズ3準備中	HP-3150US	米	貼付剤	慢性腰痛症	2026年度 フェーズ3開始予定
3	フェーズ2	HP-6050	日	マイクロ ニードル	せん妄、精神運動興奮状態、 易怒性	2025年度 後期フェーズ2 開始予定



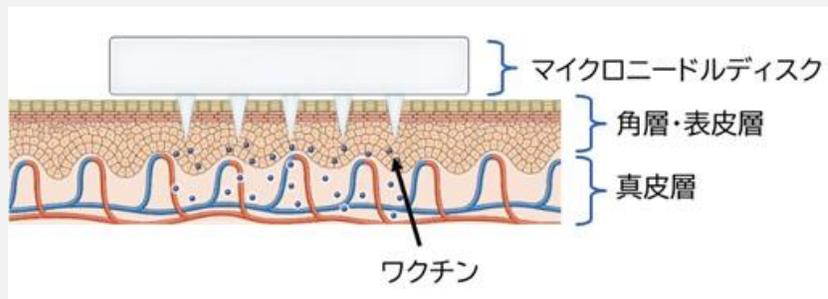
AMED SCARDAの研究開発事業 公募採択

◆ 研究開発課題

新型コロナウイルスワクチンを搭載したマイクロニードル型経皮ワクチンに関する研究開発

◆ マイクロニードル

免疫細胞の豊富な皮膚表層に直接ワクチンを届けることが可能、高い免疫誘導能が期待



【マイクロニードル概略図】

※AMED SCARDA(国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター)は、令和3年6月に閣議決定された国家戦略であるワクチン開発・生産体制強化戦略を踏まえて、感染症有事に国策としてワクチン開発を迅速に推進するために平時からの研究開発を主導する体制として、令和4年3月に設置された機関

URL⇒https://www.hisamitsu.co.jp/company/pdf/news_release_241118.pdf



リエイルへの出資

◆ リエイル

順天堂大学発バイオベンチャー企業
血管と組織再生を目的とした新規治療法の開発に取り組む

◆ リエイルの事業

侵襲性の非常に低い治療法によって、下肢虚血による強い痛み、壊疽や下肢切断をもたらす患者の重大な QOL 低下を防ぐというアンメット・メディカル・ニーズの充足が期待

◆ 久光製薬の取り組み

新たな知見を取り入れ、
既存事業の枠を超えた技術力・人材力の強化を図る

URL⇒https://www.hisamitsu.co.jp/company/pdf/news_release_241209.pdf





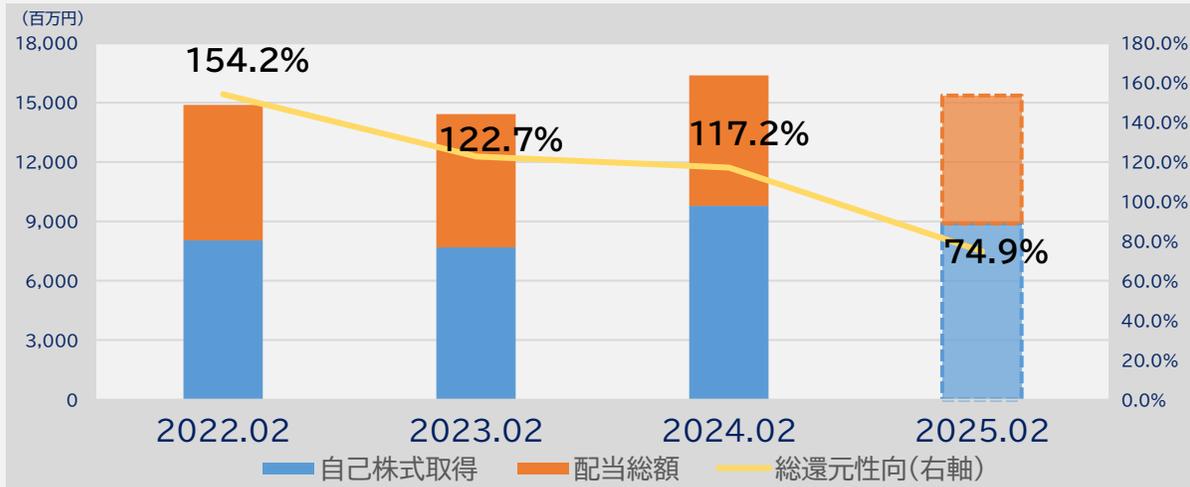
7. 資本政策について

事業環境、成長投資などバランスを考慮し、
株主資本の効率性向上と株主の皆さまへの中長期的な利益還元を目指す

株主還元

- ・配当予想 2025年2月期 年間90.0円 前期から5.0円増配(サロンパス90周年記念配当4.0円 通常増配1.0円)
12期連続増配予定
- ・自己株式取得 2024年5月 240万株取得

総還元性向



政策保有株式の縮減目標・実績

■目標

2025年2月末までに
連結純資産比20%未満に縮減

創出したキャッシュ今後の成長投資の原資とする計画

■売却実績(2024年11月末)

約 51 億円 (8月末から15億円増)

※E-Ship® 40万株の自己株式取得⇒URL : https://www.hisamitsu.co.jp/company/pdf/news_release_241010.pdf



Hisamitsu®

「手当て」の文化を、世界へ。

Promoting "TE-A-TE" Culture Worldwide

